大内宿西街道散歩道

おお　うち　じゅく　にし　かい　どう　さん　ぽ　どう

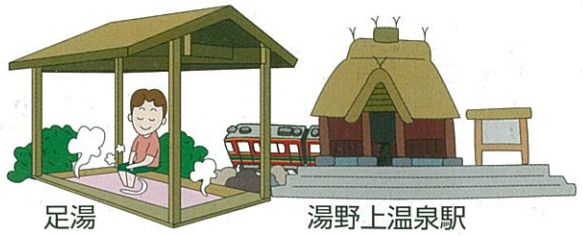
大内宿へお出でになる皆様へ

皆さん、マナーを守ってゴミは持ち帰りましょう

右記のシーズンは時間に「ゆとり」を持ってお越し下さいますよう、お願い申し上げます。

- ○5月ゴールデンウィーク
- ○8月のお盆休み期間
- ○秋の紅葉シーズンの土・日曜

なお、お車でお出での際には、会津美里町方面から“大内宿こぶしライン(県道131号下郷会津本郷線)”のご利用をお勧めいたします。

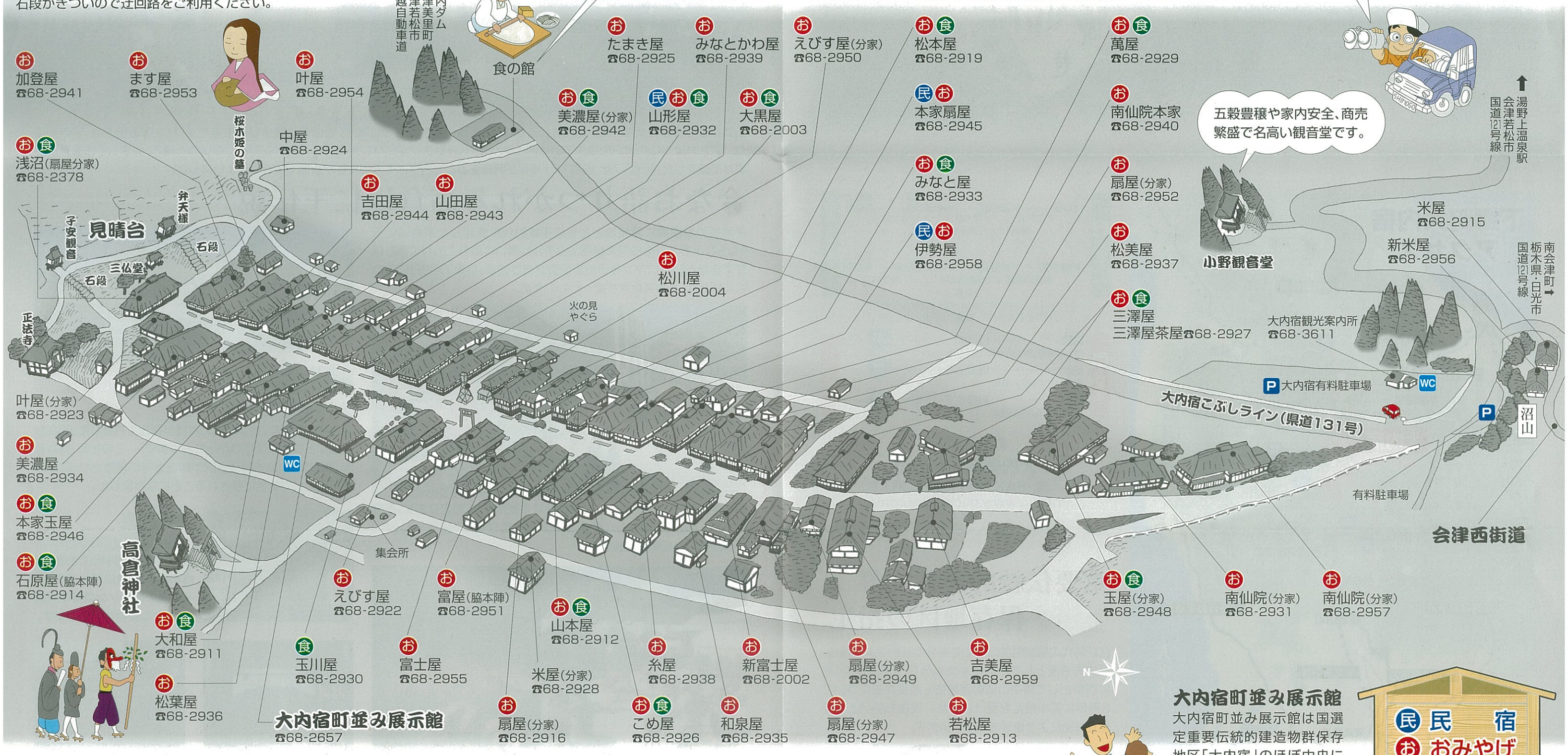


会津鉄道 湯野上温泉駅から約7km。大内宿がいよいよ見えてきた。江戸時代の旅人が今でも出そうだ。

見晴台

子安観音の脇に集落を一望できる見晴台があり、ここからの眺めがオススメポイントです。石段がきついので迂回路をご利用ください。

新そばの時期は、11月から美味しいそばが味わえます!!そば打ち体験もできます!!(要予約)



会津西街道と大内宿

この街道はいつ頃できたかははっきりしませんが、1590年に豊臣秀吉が奥羽仕置きで会津平定の帰りに通っていると言われています。その頃は街道としての形態はなしていなかったようです。会津藩主「保科正之」によって1640年代に参勤交代や年貢米などを運搬するために、会津若松城下から下野国(栃木県)今市宿までの32里(128km)が会津西街道(下野街道・南山通り)として整備されました。この間に14の宿場を設け、大内宿はその一つの宿場です。農業をしながら次の宿場までの物資運搬による駄賃収入で生計を立てていました。会津若松城下から江戸までは約61里(244km)、五泊六日の参勤交代の行程であったようですが、大内宿は若松から5里程度で早朝に城を出た大名行列の昼食休憩の宿場でした。大内宿の各家庭には屋号があり、現在も屋号で呼び合う習慣が引き継がれています。

大内宿町並み展示館

大内宿町並み展示館は国選定重要伝統的建造物群保存地区「大内宿」のほぼ中央にある茅葺き屋根の建物です。かつての問屋本陣跡を再建したもので、館内には江戸時代の部屋があり、写真や生活用具1,300点あまりが展示されています。

民 民宿
お おみやげ
食 食堂

市外局番 (0241)

許可なく転載・使用を禁じます。

大内宿内一般車進入禁止